

101-258

問題文

処方1～3の薬物の作用機序として正しいのはどれか。2つ選べ。

1. アルドース還元酵素を阻害し、末梢神経障害を改善する。
2. AMP依存性プロテインキナーゼを活性化し、肝臓での糖新生を抑制する。
3. ペルオキシソーム増殖剤応答性受容体 α (PPAR α)を活性化し、インスリン抵抗性を改善する。
4. オピオイド μ 受容体を刺激し、鎮痛作用を示す。
5. ジペプチジルペプチダーゼ-4(DPP-4)を阻害し、インクレチンの作用を増強する。

解答

問258 : 2, 3問259 : 2, 5

解説

問258

選択肢 1 ですが

リリカは、離脱症状が知られており独自の判断での休薬はいけません。薬をやめる時は医師の判断の上、徐々に休薬していきます。よって、選択肢 1 は誤りです。

選択肢 2,3 は、正しい選択肢です。

選択肢 4 ですが

リリカは、末梢性神経障害性疼痛治療薬です。Ca チャネル $\alpha 2\sigma$ リガンド に分類される GABA 誘導体です。血液を固まりにくくする作用はありません。よって、選択肢 4 は誤りです。

以上より、正解は 2,3 です。

問259

選択肢 1 ですが

アルドース還元酵素阻害剤は、エパルレストット（キネダック）です。処方1～3には、ありません。よって、選択肢 1 は誤りです。

選択肢 2 は

メトホルミンの作用機序として正しい選択肢です。

選択肢 3 ですが

PPAR α の活性化は、脂質異常症薬の一種であるフィブラート系の作用機序です。ちなみにPPAR「 α 」ではなく、「 γ 」に作用し、インスリン抵抗性を改善するのがピオグリタゾンです。よって、選択肢 3 は誤りです。

選択肢 4 ですが

μ 受容体刺激は、モルヒネなどです。処方1～3には、ありません。よって、選択肢 4 は誤りです。

選択肢 5 は

アログリブチンの作用機序として正しい選択肢です。

以上より、正解は 2,5 です。